

事業報告

令和3年度 第4回 大分県公立図書館等職員研修会

日 時 令和3年12月6日(月) 13:00~16:00
参加者 公立図書館等職員 50名

<研修趣旨>

公立図書館等の職員に対し、日常業務に伴って生じる課題を解決できるよう、知識やスキルを学ぶことにより、県内全体での司書のスキルアップを図る。

今回の研修では、震災に対し、災害時や平時からの備え等 図書館の役割について考えるとともに、図書館利用者へのコミュニケーション・スキルの向上のため、県内でも増加が予想される外国人や障害のある方々との有効なコミュニケーション手段としての「やさしい日本語」について学ぶ。

<研修内容>

【講義1】 講義 「震災資料の収集と震災アーカイブ」

講師 杵築市立図書館 館長 檜原 啓一 氏

講義内容

- 講義1
1. 東日本大震災、その時…
 2. 自然災害資料とは
 3. 自然災害資料収集の実際
 4. 電子公開（デジタルアーカイブ）
 5. 最近の関連ニュース
 6. まとめ・補足

【講義2】 講義 「やさしい日本語について学ぶ」

講師 立命館アジア太平洋大学 言語教育センター長 本田 明子 氏

講義内容

- 講義2 「やさしい日本語」が必要なわけ
- ・多文化社会日本の現状
- 「やさしい日本語」ってどんなことば？
- ・「やさしい日本語」の歴史
 - ・「やさしい日本語」の例
 - ・「やさしい日本語」の使い手になるための基本
- 多文化共生社会の日本語
- ・「やさしい日本語」批判
 - ・多様性と「やさしい日本語」

<当日の様子（写真）>



<参加者感想>

震災資料の収集

- ◇具体例が多くあげていたので少し理解できた。
- ◇今後のデジタル化に向け参考になった今後の仕事に役立つ
- ◇日頃から事例を見ておく必要があると感じた。

やさしい日本語

- ◇動画を見てみたい。
- ◇実践編も受けてみたい。
- ◇今まで知らなかったので学んでいきたい図書館でも使ってみたい。
- ◇考え方がよくわかった。
- ◇高齢者にも有効だと感じた。
- ◇目からうろこの話がたくさん